

飯山市立学校業務改善計画



なべくら高原 ブナの大木

令和元年10月

飯山市教育委員会

平成 30 年度策定しました「飯山市立学校業務改善指針」において令和元年度当初には各学校教育委員会で実施計画を策定し、評価指標（KPI）を設定しすすめていくこととなっています。

令和元年度当初（４・５月）の状況は次のとおりですので、実績を勘案しながら KPI を設定し、改善指針に基づき、飯山市教育委員会として実施計画の推進をしていきたいと考えます。

なお、本計画は、３年を目処に必要な見直しを行うこととします。

I 当初の実績と評価指標目標数値

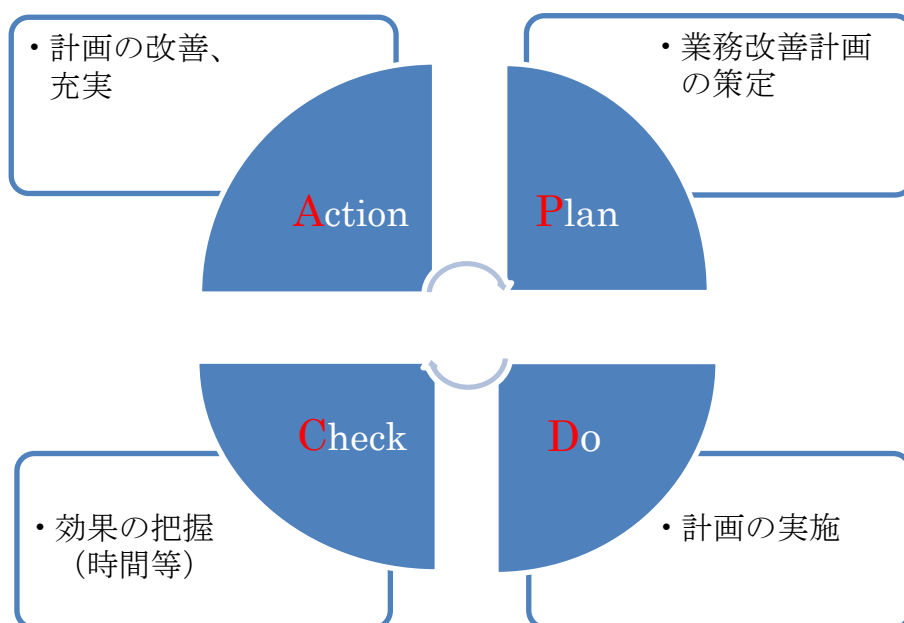
令和元年度当初（４・５月）の１ヶ月あたりの時間外勤務時間平均 54 時間、最も多い学校の平均は 63 時間となりました。

特に中学校は小学校に比べ 10 時間多く、これは、部活動指導に係る負担が大きいからです。

《評価指標目標数値》

- 1 教職員の時間外勤務時間が年間を通して月平均 45 時間以下の教職員の割合
【50%】
- 2 教職員の最も忙しい時期における時間外勤務時間が小学校においては 70 時間
中学校においては 80 時間以下の教職員の割合
【５月の時間外勤務時間で小学校 70%、中学校 60%】
- 3 午後 8 時以降に勤務している教職員の割合
【15%】
- 4 勤務時間を意識して生活できるようになったと実感できた教職員の割合
【70%】

【 学校業務改善を進めるための PDCA サイクル 】



Ⅱ 具体的な取り組み

取組の柱	市教育委員会が行う取組	実施状況
(1) 「勤務時間」を考えた働き方を進める	① タイムレコーダーを使用し勤務時間の把握	実施中
	② 「長野県中学生期のスポーツ活動指針」に基づき、部活動について、指針に沿った運用の徹底（中学校対象）	実施中
(2) 教職員の意識改革	① 業務改善提案の研究	随時実施
(3) 業務仕分けの実施	① 市の依頼する会議・調査の見直し	随時実施
	② 部活動指導員の活用	実施中
	③ 学校徴収業務の負担軽減 ・給食費の公会計化	研究中
	・学年費等の準公金化	研究中
(4) 業務効率化のためのシステム化・情報化の推進	① 統合型校務支援システムの導入	準備中
	② ICTの有効活用	研究中
(5) 学校の業務環境改善の推進	① 時間外の留守番電話対応	一部実施中
	② 長期休業期間中の学校閉庁	実施中
	③ 長期休業期間中のテレワーク勤務	研究中

◆以上の計画に基づき推進していきます。